

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	観光案内サイン整備事業	会計	一般会計	事業No.	460	施策順No.	46-005	
		事業種別	政策・その他	予算科目	0予算事業			
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	商業・市街地活性化課			
施策	46 活気ある街づくりの推進			事業期間	開始	21	終了	24

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	中心市街地						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		中心市街地の面積(ha)				151	151	
	意図	より多くの来場者や観光客が歩くまちにする						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	歩行者・自転車通行量(まちなか4箇所)				8200	8592	8600	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		飯田駅観光案内所 鉄道交流サロン「結いの駅」1周年に合わせて、飯田駅前に観光案内サインを設置。人形モニュメントを併設するなど人形劇のまちをアピールするとともに、世界16言語で「ようこそ飯田へ」を表現した。(21年度繰り越し事業)						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	来街者や観光客の回遊性を創出するため、見てわかりやすく親しみの持てる観光案内サインを設置し、中心市街地に点在する公共施設や駐車場、観光資源をネットワーク化する。 H19年度に扇町にモニュメントを配した案内サインを設置		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	飯田駅観光案内所の設置に伴い、飯田駅に観光案内サインを設置する。	1 観光案内サイン設置数	1 1カ所
23年度実施計画	24年度の設置に向けて、設置場所、大きさ、デザインの検討を行う。		

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	一般財源					
	国庫支出金					※平成21年度飯田駅前観光案内所整備事業(21年度繰越事業)
	県支出金					
	起債					
	その他					
	計 (A)		0	0	0	
	正規職員所要時間			500		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)			1,788		
	トータルコスト A+B			1,788		

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分		具体的な取組事項	
21年度決算と比べての効果額(千円)		効果額説明(算出根拠)、特殊要因	

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	中心市街地に人や物が集まり活気がある状態を目指す	施策の成果指標又はムトス指標
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	平成19年に市宮扇町駐車場に1カ所、さらに今回飯田駅前に1カ所設置した。いずれも人形モニュメントを併設し、名前募集を図るなど話題づくりに取り組んだ。	
	後期に向けた課題	さらに観光客にわかりやすい案内を提供するため、りんご並木などまちなかへ案内サインを設置していく	
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	単なるハード事業にするのではなく、併設した人形モニュメントの名前募集を図るなど話題づくりに取り組んだ。	
	後期に向けた課題	モニュメントの併設を行い、名前募集などのソフト事業にもあわせて取り組んでいく。	
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	華美にならないシンプルなデザインに心がけた	
	後期に向けた課題	今後も、同様の一定金額の範囲で、最大の効果を上げていく。	
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	公共の案内看板としては適切な表現を行ったと評価している。	
	後期に向けた課題	マップに関しては、まちの魅力スポットを端的に表現した(差別化を図った)ものが観光客にとっては必要とする情報であるという観点から、マップ作成に対して、民間の力を借りていきたい。	
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①観光ガイドなど 案内サインを活用したまちなか観光案内 ②観光ガイドの関係者らへの積極的な働きかけ	
	後期に向けた課題	観光ガイドのほか、並木コンシェルジュなどに対しても積極的な働きかけを行っていく。	
全体を通じて	4年間の振り返り	この4年間では2カ所の案内サインの整備を行ったが、人形モニュメントは、ハミングバルの「時の番人」にはじまり、アイパークの「出会いの番人」、運動公園プールの「水の番人」、市宮扇町駐車場前の「風の番人」が設置されており、今回5体目となる。	
	後期に向けた課題	人形劇のまちのブランド化推進を図る意味でも、引き続き人形モニュメントを設置していく。	

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------